市長コラム

平成の大仏

いなべ市長 日沖　靖

「三次元測定機による精密測定」
（提供：（株）デンソー　大安製作所）

天平15年(743年)、奈良東大寺の大仏殿の建造がはじまり、全国から優秀な技術者が招集されました。この地からも猪名部真人（いなべまひと）という若い大工さんが従事したという記録が正倉院に保管されています。当時、国家の大事業として進められた大仏殿の建立、そこに技術者を送るほど、この地の技術力が高かったことを物語っています。

さて、この春、技能優秀者に贈られる「平成17年度創意工夫功労者表彰（文部科学大臣賞）」をトヨタ車体（株）いなべ工場から43人、トヨタ車体精工（株）いなべ工場から３人、（株）デンソー大安製作所から18人と、市内３事業所総勢64人の方が受賞されました。現代の工業製品は全てロボットやハイテク機械が行っていると思われがちですが、実際の生産現場では神業ともいえる熟練職人の技が求められます。この職人技があればこそ、世界に誇れる高品質が保証されるのです。

しかし、全国的に多くの熟練職人が退職される年齢に達し、この技術を次の世代に如何に引き継ぐかが大きな課題となっています。幸い、市内の事業所では技術者の育成に力を入れており、そのことが多くの受賞に結びついています。大仏殿から自動車などへ造るものは変わっても、平成の大仏を造りあげる若き匠の活躍に大いに期待したいと思います。

「匠を育成する改善道場」
（提供：トヨタ車体（株）
いなべ工場）

さぁ、宇賀渓へ行こう！

４月14日、宇賀渓キャンプ場で、山の賑わいと安全を願って「山開き」が行われ、地元児童によるアマゴの稚魚放流も行いました。

自然を大切にし、たくさんの方が楽しく過ごせる施設をめざし、今年も多くの方をお待ちしています。ご家族やお友達と、ぜひ、お越しください。

問い合わせ先……宇賀渓キャンプ場管理人室　☎78-3737